

平成24年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月16日

中国運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
1	呉市地域公共交通協議会 (呉市(社)広島県バス協会、広島電鉄(株)、瀬戸内産交(株)、広島県タクシー協会呉支部、呉市自治会連合会、呉市老人クラブ連合会、呉市女性連合会、呉市PTA連合会、私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部、広島運輸支局、広島県、学識経験者 警察署)	生活交通ネットワーク 計画策定調査	① 呉市地域公共交通協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市域全域を対象としたアンケート調査を実施し、移動実態や潜在的な移動ニーズ等を把握した。 ・ICカードデータ等の分析により、市内各路線のより細かな利用状況等を把握した。 ・上記(1)及び(2)の結果から、今後の公共交通の課題と課題解決に向けた検討の方向性及び具体的な施策等について検討した。 	A	本調査事業の実施により導き出された、今後の公共交通の課題と課題解決に向けた検討の方向性等をもとに、平成25年度以降、地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)や地域内フィーダーシステムの導入等、生活交通ネットワーク計画の策定及び各事業の具現化に向けての検討を進める。	市内全域で持続可能な地域公共交通を確保するため、地域住民アンケートやICカードデータ等により詳細な現況分析が実施されていることが評価できる。調査結果に基づき、公共交通の課題解決に向けた具体的な施策の検討が行われることを期待する。		
2	雲南市地域公共交通協議会 (島根県、雲南市、一畑バス(株)、中国JRバス(株)、JR西日本(株)、(社)島根県旅客自動車協会、学識経験者、中国地方整備局、島根運輸支局、県交通運輸産業労働組合協議会、雲南市社会福祉協議会、地域委員会代表、公共交通利用者代表)	生活交通ネットワーク 計画策定調査	① 雲南市地域公共交通協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者率、人口減少の推移調査、市内公共交通の現状把握、市民バスの利用状況やバス停から離れた集落等交通空白地域調査などを行い、今後、公共交通の需要がある地域の把握を行うと伴に大東・三刀屋地域内の課題を整理・分析し、スクール便を兼ねる定時定路線の確保を検討しながら、高齢者等の買い物・通院利用に利便性の高い運行形態の導入を検討した。併せて、計画の妥当性を検証するため、実験的な実証運行を行い、利用状況を検証した。 ※実証運行は、今後の本格運行への準備・検証のため現在も引き続き運行中。 	A	平成26年度 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請を予定 (事業内容) ・新たに大東町海潮地域及び三刀屋町鍋山地域において、デマンド型乗合タクシーの運行を行う。	市内の交通空白地域において持続可能な地域公共交通を確保するため、詳細な課題分析が実施されていることが評価できる。調査結果に基づくデマンド型乗合タクシーの運行を開始することで、より効率的できめ細かな公共交通サービスの実現が図られると思われる。		
3	備前市公共交通会議 (備前市、住民・利用者代表、学識経験者、宇野自動車(株)、日生運輸(株)、県タクシー協会和気支部、JR西日本(株)岡山支社、大生汽船(株)、瀬戸内観光汽船(株)、岡山運輸支局)	生活交通ネットワーク 計画策定調査	① 備前市公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を取り巻く環境(地勢、人口、高齢化、施設配置、観光資源等)をGISを用いて整理した。 ・公共交通の現況(路線網、バス利用状況、収支率、交通空白地域、スクール利用、航路利用状況等)を整理した。 ・上記の現況調査の他、住民アンケートや民生委員アンケート、高校生アンケート、諸島地区アンケート、主要施設における利用者ヒアリング、関係者ヒアリング等の結果を踏まえ、地域の課題を整理し、効果的・効率的な公共交通体系への見直しを検討した。 ・その他、事業としてモビリティ・マネジメントや公共交通支援の仕組みづくり等の方向性を検討した。 	A	平成26年度 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請を予定 (事業内容) ・吉永地域で運行されている市営バス和意谷線・三国東西線・八塔寺線について、調査結果に基づき、デマンド型乗合タクシーの導入を検討する(住民意見交換会を実施し、具体的な運行方法を検討) ・三石地区で交通空白状態にある地区について、新たにデマンド型乗合タクシーの導入を検討する(住民意見交換会を実施し、具体的な運行方法を検討)	市内全域で持続可能な地域公共交通を確保するため、詳細な現況分析と地域住民アンケートが実施されていることが評価できる。調査結果に基づくデマンド型乗合タクシーを導入することで、より効率的できめ細かな公共交通サービスの実現が図られると思われる。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
4	井笠鉄道バス路線廃止対策会議 (笠岡市、井原市、浅口市、倉敷市、里庄町、矢掛町、福山市、岡山県、広島県、岡山運輸支局、広島運輸支局)	生活交通ネットワーク 計画策定調査	① 井笠鉄道バス路線廃止対策会議	<ul style="list-style-type: none"> ・全便(36系統)のOD調査(調査員乗込)調査を実施し利用状況を把握した。 ・乗降調査結果データの整理及び市町既存所有データの分析を行った。 ・調査対象路線の収支状況などの評価指標から、各路線の全体的な状況を分析した。 ・調査結果や評価指標による分析をもとに、路線毎のサービス見直し案の検討を行った。 ・調査結果から、実際の運行再編に進むにあたって残された今後の課題を提示した。 	A		<p>平成26年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通調査事業)を申請し、引き続き、より詳しい利用状況調査や住民アンケート等を実施する。</p> <p>その結果を、地域間幹線系統確保維持計画だけでなく、関係自治体(倉敷市・笠岡市・井原市・浅口市・里庄町・矢掛町・福山市)における平成26年度以降の生活交通ネットワーク計画の策定にも資するものとなるよう、対策会議において十分な調整を行う。</p>	6市2町に跨がる路線バスを運行していたバス事業者がバス事業を廃止するという全国でも例を見ない緊急事態を受けて、当該地域での持続可能な地域公共交通を確保するため、詳細な現況分析と地域住民アンケートが実施されていることが評価できる。本調査結果と平成25年度調査事業の結果を踏まえて、住民ニーズに併せた交通体系を構築することを期待する。	
5	長門市地域公共交通計画策定協議会 (長門市、山口運輸支局、山口県、長門警察署、道路管理者(国、県)、学識経験者、地域住民・利用者代表、防長交通(株)、サンデン交通(株)、ブルーライン交通(株)、JR西日本(株)、(社)山口県乗用自動車協会、(社)山口県バス協会)	生活交通ネットワーク 計画策定調査	① 長門市地域公共交通計画策定協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別の人口・高齢化率等の動向とともに、現在の交通体系・利用状況を調査・整理し、地域公共交通の状況及び公共交通不便地域の状況を把握。 ・住民、民生委員、事業所へのアンケート、公共交通機関や主要施設での利用者等へのヒアリング、地域意見交換会を実施し、市民及び利用者のニーズ等を把握。 ・地域公共交通の課題を整理し、公共交通不便地域における新たな公共交通の導入等の目標と事業を設定。 	A		<p>平成26年度 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請を予定</p> <p>(事業内容) ・新たに俵山地区、向津具地区において、デマンド交通等を運行。</p>	市内全域で持続可能な地域公共交通を確保するため、詳細な地域公共交通の状況及び公共交通不便地域の現況分析が地域住民アンケートや利用者等へのヒアリングも含め実施され、「長門市地域公共交通計画」が策定されたことが評価できる。今後は、今回策定された計画に基づき、住民満足度の高い持続可能な公共交通を実現することを期待する。	

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。